
活動の概要

2020 年度に学内ネットワークの全面更改が行われたが、そのシステム不具合対応の他、学内ネットワークを安定的に提供できるようシステム管理らとともにやってきた。また、今年度に持ち越しとなった残りのリース PC の機種選定などの対応も行なった。

学内での活動

1 制作基礎（機材講習、論文調査、統計解析）を担当

機材講習（前田先生、システム管理専門職と担当）では、本学のネットワークについて紹介をした。また、論文調査（小林昌廣先生と担当）として、本学から利用可能なリソースの紹介や利用方法などの紹介を行なった。統計解析では、前半は検定など座学を行った後、各自で演習課題に取り組んでもらった。

2 情報工学演習を担当（小林孝先生と共同で担当）

エッジコンピュータをテーマに行なっている。各学生へマイコンを貸与し、サンプルを動作させたところで、各自が取り組む内容を検討し、実装をしてもらった。昨年度からあらかじめ準備した環境を学生側にイメージをダウンロードして実行するだけで利用できるように、準備のステップをできるだけ短くして早く学生に実装できるような工夫をした。

3 Python 部の実施

毎週木曜日の授業時間外に「情報工学演習」で必要な Python の知識や実習を実施してきた。内容などは参加した学生が扱いたい項目を中心に選定している。なお、講義の履修していない学生も参加できるようにしている。

4 システム委員会（委員長）

学内ネットワークや、学内サービス、クラウドサービス等の管理に関する業務などに関わった。また、Maker Faire2022 のネットワーク環境も利用できるように整備するなど、職員・学生らと共と連携して行った。IAMAS 2023（期間 2/23～2/26）も同様に準備できるように学生らと打ち合わせなどを行なっている。また、新たなコミュニケーションサービスの導入やビデオ会議システムのクラウド利用、講義室などで備え付けの設備の入れ替えなどの検討などを行なってきた。

5 ネットワークの保守・運用などについて

本学のネットワークの運用や保守など、ネットワーク環境の不具合・セキュリティ対応や利用方法の調整を業者らと検討し実施した。一部非常勤講師などが利用するネットワークに不具合があり、その対応などを行なった。

6 クラウドのストレージの対応

本学がメインで利用しているクラウドのストレージ領域について、2022 年より学校全体で 100TB の制限がかかることから、効率的に利用できるようにストレージ利用の多いユーザへデータ削減を求めるなど個別の対応を行なった。また毎月定例の委員会にて利用状況を把握し、対応方針を確認した。今年度より各ユーザの種別ごとに制限をかける方針となり、アカウント利用状況確認フォームの項目に追加して対応することになった。

7 学内でのサービスなど不具合情報の提供

学内サービスやウイルス対策ソフトなど不具合情報や今後新たに導入されるサービスなどの情報を一元管理して委員会の中で状況の共有を図っている。

8 増床箇所のネットワーク敷設検討など

校舎の増床に伴って利用するネットワーク機器やその数量などを調整した。また、現行業者と既存施設で利用できるネットワークなどの確認など最終調整をした。

9 入試データのデジタル化の検討

COVID-19 によりオンライン入試となったが、特にシステム面での資料などのデジタル化がセキュリティポリシーに対応した内容で可能なのか、等の確認作業を行った。

学内外での活動

1 学校運営協議会委員として参加

岐阜県立大垣特別支援学校の学校運営協議会委員として参加し、学校運営全体に関するアドバイスなどを行なった。

2 池田町有線放送アーカイブ活用推進委員会として参加

岐阜県揖斐郡池田町で利用されていた池田町有線放送（2017 年に終了）の放送データなどのアーカイブデータを有効利用するため、委員会メンバーとして活動した。2023 年 3 月に行われる池田町で行われるイベントに向けて試聴体験の一部を担当する予定である。

学外での教育活動

1 朝日大学歯科衛生士専門学校で講師

朝日大学歯科衛生士専門学校で、非常勤講師として「情報処理」の講義を担当した。講義は一部オンラインで行った。